

## 表紙の説明

幸せの青い鳥「ルリビタキ」

池上 均 陸自73

チルチルとミチルが夢の中で幸せの青い鳥を求めて旅に出るというメーテルリンクの童話ですが、結局最後に目が覚めると実は目の前に幸せの青い鳥は居たのだという話で、「本当の幸せは身近なところにある」ということでした。

私の住んでいる千葉県野田市では普段から青い鳥の代表であるカワセミを利根運河で見ることが出来ますが、昨年初めて近くのくぬぎ林で目の覚めるような美しい「青い鳥」を見つけました。

自宅から400mほどのくぬぎ林で、「幸せの青い鳥」は近くに居たのです。これはルリビタキのオスでスズメ程度の小鳥です。

12月初旬にこの住宅地にあるくぬぎ林に渡って来て、4月上旬に自然環境豊かな遠くの山に帰るといふ渡り鳥です。

写真の狙いを2月に咲き始める紅梅の一枝に留まる幸せの青い鳥ルリビタキに定め、ほぼ毎日のウォーキングに出かけます。しかし出会うことも限られたチャンスでましてや開花した紅梅に留まってくれるのも稀でした。

今年はそのルリビタキが2羽渡ってきており、幸運にも紅梅の枝にとまりました。私の「幸せの青い鳥」を探すカメラ散歩はまだまだ続きます。